

文学館—原作と地図で探索する時空の迷宮・小樽

昭和12年に文芸雑誌『文藝』に発表された『幽鬼の街』。そこに描写されているのは、一見単純な、伊藤整にとっての思い出の小樽のように見えますが、実は、作中の時間軸は、大正6年(1917)から昭和3年(1928)頃まで、10年余もの幅があります。また、物語も決して年代順に進んで行くわけではなく、各場面は、空間の微妙な歪みをはらみながら、時間を行きつ戻りつします。ねじれた時空間の迷宮の中で〈幽鬼〉は随所に出現し、主人公〈伊藤ひとし〉の心を責めさいなみます。

本展では、原作の草稿や初出雑誌・初版本の展示と同時に、作品内の描写を、ストーリーマップや当時の古写真、そして「幽鬼の街」成立に至るまでの伊藤整の創作活動の軌跡と共にご紹介し、彼の〈内面の小樽〉に迫ります。〈小説〉という名の時空の裂け目から、あなたの知らないもう一つの小樽に迷い込んでみませんか？



左:『幽鬼の街』と続編『幽鬼の村』が収録された単行本『街と村』(函デザイン) 昭和14年5月
右:『街と村』本体デザイン

『幽鬼の街』冒頭ページ

『文藝』昭和12年8月号 『幽鬼の街』初出掲載

《関連事業》

座談会「今、幽鬼の街に歩み入る時 — 世代を超えた共同アプローチ」

日時:2024年9月22日(日) 16:30~18:30
内容:『幽鬼の街』に描かれた小樽の街をもとに、小樽の歴史的な魅力について考えます。
ゲスト:内山景一郎氏(伊藤整研究者、元伊藤整文学賞の会運営委員)
佐々木一夫氏(手宮歴史風土工房共同代表・元「叫児楼」店主)
武田佑希子氏(北海学園大学大学院文学研究科日本文化専攻)

司会:亀井志乃(市立小樽文学館館長)
場所:市立小樽文学館展示室
料金:入館料のみ
定員:50名
申込:要予約 電話受付(0134-32-2388)

文学散歩「令和にさ迷おう!『幽鬼の街』」

日時:2024年10月6日(日) 14:00~16:00
内容:『幽鬼の街』に登場する小樽の街角を実際に歩いて辿ります。
ナビゲーター:内山景一郎氏(伊藤整研究者、元伊藤整文学賞の会運営委員)
集合場所:市立小樽文学館1F研修室
料金:無料
定員:先着30名
申込:要予約 電話受付(0134-32-2388)



イラスト・高山美香

ストーリーマップ

「幽鬼の街」小樽を歩く
小樽の街の今昔と
伊藤整の「坂」表現

武田佑希子
(北海学園大学大学院
文学研究科日本文化専攻)

マップギャラリー2023
(ストーリーマップ部門)
第1位



「中央通り」(昭和初期)

ストーリーマップ

地図と文章・画像・動画などを組み合わせることによって、ストーリー性を持った地図を作成することができる、ESRI社が提供するアプリケーション。

地理情報システム(GIS:Geographic Information System)

地球上の様々な地物や事象をコンピューター上で地図化し、情報の関係性や傾向をわかりやすく可視化することができるシステム。

運河館—小樽の今昔風景

明治期に造られた街並みが残る小樽。街を散策すると、小説の舞台となった大正から昭和初期にかけての面影もみつけることができます。

本展では、各時代の写真を見比べながら小樽の街並みの変遷を紹介します。写真と地図を手掛かりに、幽鬼の街を歩いてみてはいかがでしょうか。



絵はがき「小樽港」(昭和10年)

《関連事業》

博物館ゼミナール 小樽学「よむ・めぐる・つながる—地図で見つめる小樽の歴史と文学」

日時:2024年8月17日(土)、24日(土)、31日(土) 13:30~15:00
内容:地図や街歩き視点から、歴史や文学にまつわる「小樽の魅力」について考えます。
●17日(土)『幽鬼の街』小樽を歩く—伊藤整の「坂」にまつわる感覚的表現—
講師:武田佑希子氏(北海学園大学大学院文学研究科日本文化専攻)
●24日(土)〈川〉でつながる「幽鬼の街」と「ユリシーズ」の世界
講師:亀井志乃(市立小樽文学館館長)
●31日(土)地理情報科学とデジタルアーカイブでつなぐ記憶と記録—博物館と地域の協働プロジェクト—
講師:塚本章宏氏(佛教大学歴史学部歴史文化学学科教授)

場所:小樽市総合博物館 本館2階研修室
料金:入館料のみ
申込:不要。直接お越しください

ミュージアムラウンジ「思い出の街・小樽を地図化する」

日時:2024年10月5日(土) 14:00~15:00
内容:「小樽の街並みを写した画像」を参加者で持ち寄り、1つのデジタルマップを作成します。撮影時期は問いません。二次元バーコードを読み取ることができるスマートフォンに写真を入れてご持参ください。作成したマップは、後日博物館での展示を予定しています。

※マップは教育普及や調査研究に使用するため、個人の特定に繋がる写真は避けてください。

講師:蟬塚咲衣(小樽市総合博物館学芸員)
場所:小樽市総合博物館 本館2階研修室
料金:入館料のみ
申込:不要。直接お越しください(見学も大歓迎)

本館—幽鬼の街・小樽とその時代を歩く

『幽鬼の街』(昭和12年)に掲載された伊藤整による手書きの地図「小樽市街中央部図」と武田佑希子氏が2023年に発表した幽鬼の街に関するストーリーマップをもとに、小説で描かれた場所を、当時の写真や関連する資料とあわせて紹介します。文学作品を理解するツールとして、近年重要な役割を持ち始めている地理情報システム(GIS)を通して、文学と地図を組み合わせることの面白さをぜひ体感してください。新たな博物館展示の在り方に触れつつ、小説の世界をお楽しみいただければ幸いです。